

2015 年度 第 2 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 平成 27 年 7 月 24 日(金) 13 時 00 分～17 時 00 分
2. 場所 建築会館
3. 出席者 多田元英, 一戸康生, 井戸田秀樹, 稲岡真也, 岡崎太一郎, 兼光知巳,
(敬称略) 澤本佳和, 吹田啓一郎, 田川泰久, 竹内 徹, 田中 剛, 寺田岳彦,
成原弘之, 西山 功, 平島岳夫, 増田浩志, 緑川光正, 見波 進,
宇佐美徹(記録)
欠席:五十嵐規矩夫, 岡本哲美, 河野昭彦, 向野聡彦, 越智健之,
笠井和彦, 木村祥裕, 中込忠男, 原田幸博,
4. 配付資料
 - 02-01 2015 年度第 2 回鋼構造運営委員会議事予定(多田主査)
 - 02-02 2015 年度第 1 回鋼構造運営委員会議事録(案)(宇佐美)
 - 02-03 構造本委員会議案(多田主査)
 - 02-04 鋼構造座屈小委員会(井戸田委員)
 - 02-05 鋼構造接合小委員会(増田委員)
 - 02-06 鋼構造制振小委員会(緑川委員)
 - 02-07 鋼構造耐火設計小委員会(平島委員)
 - 02-08 鋼構造環境小委員会(兼光委員)
 - 02-09 鋼構造素材小委員会(見波委員)
 - 02-10 鋼構造塑性設計小委員会(五十嵐委員)
 - 02-11-01 鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(岡崎委員)
 - 02-11-02 鋼構造設計規準英文版 査読意見 査読対応案(岡崎委員)
 - 02-12 本年度(2015 年度)大会 PD の準備状況について(吹田委員)
 - 02-13-01 2016 年度日本建築学会大会・鋼構造 PD 企画案(平島委員)
 - 02-13-02 2016 年度大会 PD 案(多田主査)
 - 02-14-01 鋼構造座屈設計指針改定メモ(井戸田委員)
 - 02-14-02 改定原稿(井戸田委員)
 - 02-15 質疑回答の一覧(井戸田委員)
5. 議事内容
 - (1) 資料 02-02 に基づき前回議事録の確認がなされた。
 - ・ 座屈設計指針の刊行は 2017.6 に修正。
 - (2) 資料 02-03 に基づき多田主査より構造本委員会の報告がなされた。
 - ・ 2016 年度の大会は福岡大学で 8/24-26 で開催。プログラム編成会議は 4/21 に開催。
 - ・ AIJ デジタルライブラリーへの PD 資料の公開は, 大会終了 1 年後で印刷物の残部がある場合は公開しない。
 - ・ 2016 年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類を 10 月中旬に多田主査に提

出のこと。

- ・ 2015 年度委員長裁量経費の配分として 30 万円が認められた。
- ・ 運営委員会として 2016 年度大会細分類・細々分類一覧に変更がない旨を確認した。
- ・ 卒業論文等顕彰事業委員会委員について、木村委員の任期満了にともない、次期委員に田中委員が推薦された。
- ・ 「鋼構造環境配慮設計指針-部材リユース-」の査読対応は承認された。タイトルに(案)が付くこととなったため、事務局に確認して書名変更手続きをすること。
- ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック」の査読対応は承認された。
- ・ 11/6 の鋼構造耐火設計シンポジウムの開催が承認された。
- ・ 鋳鉄検討 WG の設置申請が承認された。

(3) 資料 02-04~02-11 に基づき各担当委員より小委員会の報告がなされた。

座屈小委員会(資料 02-04, 井戸田委員)

- ・ 座屈崩壊型鋼構造部材の性能評価 WG の設置申請がなされ承認された。
→WG 設置の設置目的を修正して記入の上、事務局に提出のこと。

接合小委員会(資料 02-05, 増田委員)

- ・ 高力ボルト接合設計施工ガイドブックは 2016 年度 3 月上旬に東京・大阪で講習会を予定している。
- ・ 柱脚設計施工ガイドブックの運営委員会の査読者は成原委員と原田委員とする。

制振小委員会(資料 02-06, 緑川委員)

- ・ 正誤表は重要な個所を抽出して取りまとめ、7 月中を目途に事務局へ提出する予定である。

耐火設計小委員会(資料 02-07, 平島委員)

- ・ 鋼構造耐火設計指針の改定に関して報告がなされた。

環境小委員会(資料 02-08, 兼光委員)

- ・ 鋼構造環境配慮設計指針は 8 月末に入稿し、12 月に講習会を予定している。

素材小委員会(資料 02-09, 見波委員)

- ・ データベースの現状について説明がなされた。SN490B 以外はストレージサーバーにアップ済みである。
→ボルト、アンカーボルト、ターンバックルはミルシートがある。溶接材料は対象外と考えている。
- ・ 鋼材の高温データは耐火設計小委員会と連携してデータを提供してもらえないか検討する。
→対象材料があれば連絡してほしい。

塑性設計小委員会(資料 02-10, 五十嵐委員代理:岡崎委員)

- ・ 塑性設計指針の改定は各章の検討は済み、9/7 の小委員会で原稿を取集し、小委員会内の査読を開始する。運営委員会の査読は来年からになる。
- ・ 鋼構造関連規準内での塑性設計指針の位置付けについて議論された。
→耐震設計における位置付けについては、指針内に記述する予定である。

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(資料 02-11, 岡崎委員)

- ・ 運営委員会の査読対応中で、終了後、本委員会査読に移行する。
- ・ 小山先生(東大)、松井先生(東工大)の委員追加が申請され承認された。

→事務局に確認して手続きのこと.

- ・ Web 出版はシステムの構築中で、有償となる可能性もある。有償とするか無償とするかについては、小委員会としての希望を表明してほしい。
- (4) 資料 02-12 に基づき吹田委員より 2015 年度大会 PD の進捗状況について説明がなされた。
- (5) 資料 02-13-01~02-13-02 に基づき、2016 年度大会 PD 案について議論された。
 - ・ 平島委員より”鋼構造に関わる諸問題と耐火設計”が、多田主査より”大規模鋼構造物の改修および建替技術”が提案され、平島委員の案が採択された。
- (6) 重点審議として、資料 02-14-01~02-14-04 に基づき井戸田委員より座屈設計指針の改定内容について説明がなされた。
 - ・ ブレースの首折れ破壊(名称は今後検討する)の指針内の式は、座屈に関する諸問題 2013 のものを記述する。
 - 接合設計指針では、例題に用いる等して注意喚起してもらいたいと考えている。
 - 制振設計指針では、式は異なるものの同様の結果が得られる旨を記述してほしいと考えている。
 - ・ 9 章のスペースフレームは大きく変更し、かつ”ラチスシェル屋根構造設計指針”との整合を取っている。
- (7) 資料 02-15 に基づき井戸田委員より学会図書の質疑回答状況について確認がなされた。
- (8) 鋼構造設計規準の改定方針に関して議論がなされた。
 - ・ 英文化小委員会が作成した更新の提案(資料 01-11-02)の中で、正誤表での対応可能なものは、次回増刷時に対応する。分担は小委員会または委員で担当する。
 - ・ 正誤表での対応が困難な項目の改定に合わせ、新規改定を実施するための小委員会を来年度立ち上げる。小委員会の設置は田川委員が主で、今秋の構造本委員会に設置申請をする。

6. その他

- ・ 河野委員(九大)の解嘱と津田先生(北九州市大)の委嘱が承認された。
- ・ 今後の重点審議は次の通り。
 - ◇ 2015 年度第 3 回(9/3)、第 4 回(12/14)運営委員会:なし
 - ◇ 2015 年度第 5 回(3 月)運営委員会:耐火設計小委員会
 - ◇ 2016 年度第 1 回(5 月)運営委員会:素材小委員会
 - ◇ 2016 年度第 2 回(7 月)運営委員会:環境小委員会
- ・ 次回の運営委員会の日時、場所は以下の通り。
 - 第 3 回 2015 年 9 月 3 日(木), 15:15-18:00, 於:建築会館
 - 第 4 回 2015 年 12 月 14 日(月), 13:00-17:00, 於:建築会館